



下絵実物
コーナー
(随時交換)



企画展

徳田八十吉の

2020. 7. 4 (土)
- 11.29 (日)

水曜日休館

文様



開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料 一般300円/高校生以下無料
※小松ミュージアムパス利用可
※障がい者手帳をお持ちの方と介助人1名は無料
休館日 水曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町 95-1
Tel/Fax : 0761-23-2668 <http://www.kcm.gr.jp>



歴代八十吉の作品を 下絵とともに紹介

焼き物に絵付けをするときは、図案帳やスケッチ、下絵をもとに型紙を作り、その型紙使い素地に写します。

当企画展では、初代から三代までの八十吉の作品をスケッチや下絵とともに展示し、どのような作品が作られたのか、文様にどのような特徴があるのか考えてみました。また、初代以前の古九谷や、再興九谷も展示し、九谷焼の文様について考えます。

下絵実物コーナー



定期的の下絵や図案を入れ替え展示。展示状況はHPで告知予定です。

初代八十吉下絵 ティーカップ（明治時代）

※展示作品すべての下絵が紹介されているわけではありません。また、下絵の保護のため、下絵を実物ではなく写真で紹介する場合があります。

表面左上から

二代八十吉《秋映飾皿》

二代八十吉《香芳帖 昭和十三年四月十七日》

初代八十吉《古九谷欽慕松鶴図九角皿 下絵》

初代八十吉《古九谷欽慕松鶴図九角皿》

三代八十吉《深厚耀彩彫文壺》

小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町 95-1

Tel/Fax : 0761-23-2668 <http://www.kcm.gr.jp>

徳田八十吉の文様

2020. 7. 4 (土) - 11. 29 (日)

初代 古九谷や吉田屋に学ぶ



初代のスケッチ



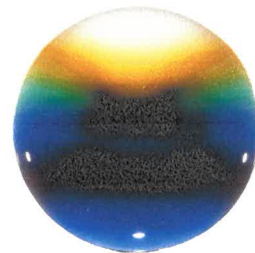
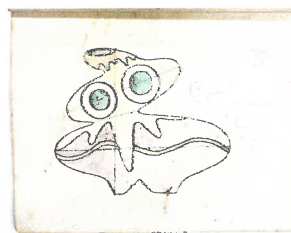
《古九谷写意手附鉢》

二代 写生から文様をつくる



《正視図九角飾皿》《香芳帖 昭和十三年五月七日》

三代 釉薬のグラデーション



大学時代のスケッチブック 《耀彩大皿「黎明」》

